



3月21日に枚方市役所前の岡東中央公園で「交野ヶ原フェスタ3・2・1」が開催され、撮影させていただきました。地元の演奏家やダンスチームがステージでお客さんを楽しませ、出店ブースもたくさんで賑わいました。地元の障害者施設「こどもテラス」のみなさんも初めて出店され、珈琲を販売しながらお客さんとの交流を楽しまれています。(写真)はスターダスト河内のみなさんの踊りです。とても力強かったです。(フォトグラファー花歌)



- ✎ 言いたい放題! アッキー28号 (26) 「ともに学ぶ」と私
- ✎ シリーズ『作らずにはいられない』 発酵食品の真理
- ✎ 鶴島昭雄さん(枚方在住)に聞く「戦争の体験」(18)
戦災孤児
- ✎ 思い出話 浪華から大阪へ (11)
- ✎ 今月の五行歌
- ✎ 原発賠償関西訴訟第17回期日の傍聴に行きました。
- ✎ イベント紹介 ✎ 編集局より/LIP配布場所/会計報告

「LIP編集局」 <http://www.love-dugong.net/lip/>

連絡先

メールアドレス: lip@love-dugong.net

TEL: 070-5653-6913 (18時以降)

郵便振替口座 00920-8-120259 (LIP編集局)



一月末、「前文部科学事務次官・前川喜平さんを囲んで『ともに学び、ともに生きる』教育を考える」学習会に参加した。前川さんのお話は広い地平から「学ぶ」を考え語られて感心したが、その話の前に障害を持つ子ども、保護者等から「ともに学ぶ」の実践の報告があった。医療的ケアが必要なお子さんの小学校への進学が決まったこと、知的障害を持ったお子さんの高校受験と学校生活のお話等、困難の中を前に進もうとする、いきいきとした報告であった。

さて、私の上の息子は22歳で、自閉症という障害を持っている。生育歴を語れば、親子教室で勧められ保育所に入所。就学は最初地域の小学校を望んだが、結局養護学校(当時)に入学。その後放課後留守家庭児童会室で障害のない子どもたちと共に過ごす中で言葉のない息子も大きな学びをしていることを実感して、小4から地域の小学校に転校。そして小学校の目の前にある中学校へ。高校は「定員割れ」で、自宅から約13キロの道のりにある公立高校に「前代未聞」と言われながら入学、3年間でなんとか卒業できた。振り返ると、私たち親子は、障害を持つ子にはそれにふさわしい学びがあると「分け」る「教育から、障害の有無にかかわらず地域で共に育とう」という「ともに学ぶ」教育へと、試行錯誤でシフトしたというところか。

「知的障害を持つ子に、普通の子と同じ学校に行かせようとするのは、親のエゴでしょう?」そう問われたらどうしようと思私はよく考えた。「障害を持ついても、おんなじ人間、同じいのちでしょう? 同じ社会で生きていくのだから、同じ教育を受けた方がいいのでは?」今ならそんな風に答えるだろう。

言いたい放題! アッキー28号 (26)

「ともに学ぶ」と私

「同じいのち」で説明できる、そこに至るまでに私は十数年もかかった。

障害を持つ子を授かると、一般に親はそれまでの価値観の転換を迫られる。「早い」「よくできる」「優れている」

等々、それまでの人生で身につけてきた評価の基準では我が子を測れない。「基準外」である我が子を受け入れ育てていくために、新しい世界の基準が必要だ。「マイナス」「無用」とそれまで考えていたようなところ、どのように豊かさを見出せるのか。障害との出会いは、生き方を根本から揺るがせ改変させてくれる。

私の場合はその揺らぎが長く続いた。支援者に「授業でこの子には分からないようなことを先生が話している。それをずっと聞いてるって、しんどいんじゃないかな?」と聞く。「クラスの全部の子が、授業で先生の言うことをみんなわかって聞いていると思う? 同年代の子どもたちと一緒に空気を吸って一緒に行動する。それが大きな学びになるのよ」と答えてもらって、そうなのかあとと思う。「あなたの生きている世界の地続きに子どもがいるって思えるかどうか?」そうではなく、私の子どもは、私のいる世界ではなく、どこか安全で保護された別の世界にいるものって思うのかってこと。そう聞いて、ようやく腑に落ち納得できた。

息子が中三の夏、英国・ロンドンの学校や団体を見学するツアーに息子と一緒に参加した。「SEN(特別な教育的ニーズ)を有する子どもたちを、受け入れています」という小学校も見学した。「でも、走り回っ



たり騒ぐような子は一人も見かけなかったわね」と同行の先輩母が学校を出た後小声で言った。「大阪ではそういう子も受け入れているのにな。大阪の方が進んでるんじゃない?」翌日訪ねた障害当事者団体で、「英国では教育に関する法律に『一緒に教育を受けることになる子ども』の教育を妨げない」という条項があり、障害児の普通学校への統合の妨げとなっている」と聞いた。「日本では昔『就学猶予』で学校に行けない障害を持つ子を地域の先生が受け入れたらして、特に大阪では体当たりで『ともに学ぶ』がなされてきたんだよね」「凄いことですよ。先輩母とそんな会話を交わした。

私たちの国では「障害を持つ子のために特別の教育が必要だ」と言う。「他の子の教育の妨げにならないように」とは、たとえ思っても言わない。真綿でくるむようにやさしく包まれる。それを心地よく受け取るか、息苦しいと感じて振りほどこうとするのか。いろいろ思い出し考えながらこの文章を書いていると、息子がつけっ放しにしていたテレビからカレーのCMが流れてきた。「食物アレルギーを持っている息子が、はじめてカレーを食べたんです。……みんな一緒に、いいですね!」画面に目をやると、カレー皿を囲んで談笑する男の子と家族の特大の笑顔が飛び込んできた。

(著者プロフィール) パート勤務の主婦。自閉症を持つ成人した息子がいます。市民活動、文化活動にも励んでいます。

シリーズ『作らずにはいられない』(11)

＝ 発酵食品の真理

人類は“作る”動物だ。石器時代から営々と、自らの手を使い、様々なものを作り出し続けてきた。あふれるほどのモノたちが簡単に手に入る文明の時代に生きる私たちが、ふいに先祖返りのように“作る”衝動におそわれるときがある。

このシリーズは、そんな「作らずにはいられない」、ひとりの男の記録である。

わたしはひとつの真理に到達しつつあるのかもしれない。そんな話をひとつ。

最近、いろんな発酵食品を手作りしている。きっかけは、ぬか漬けだった。

スーパーで買ってくるぬか漬けて、たいていあまり美味しくない。だからあまり食べていなかった。でも、京都の錦市場に行ったときに買った漬物が美味しくて、漬物ってこんなに美味しかったっけと思わされた。自分で作ってみたいくなって、小さな密閉容器に市販のぬか床を入れて、冷蔵庫で漬けてみたところ、これがなかなかの出来で、美味しくいただけた。ついつい凝って、いろんなものを漬けたりもしてみた。どれも美味しい。スーパーの漬物とどこが違うのか？ いろいろ考えてみた。市販の漬物のなかには、乳酸菌発酵してなくて、それっぽい味付けがしてあるだけのものもあったりするけど、それだけではなさそう。乳酸菌の元気さが違うのではなかろうか。手作りだと、バリバリ現役で醸し中の乳酸菌だらけだけど、市販の漬物では長持ちさせるためにはあまり元気すぎる菌だと発酵が進みすぎて全部酸っぱくなりそうだ。

そこでフト、わたしは思った。発酵食品って

いろいろあるけれど、もしかすると、どれも自作のほうが美味しいのではないのか？ そういえば、以前、味噌を自作してみたことがあるけど、あれもめっちゃ美味かったような。

思いついたら作らずにはいられない♪

まず、ヨーグルトメーカーを買い込んだ。いろんな発酵パターンを想定して、温度調整ができるタイプにした。市販の牛乳に市販のヨーグルトをまぜて、40℃で一晩寝かせる。簡単にできた。ふつーに美味しい。甘酒も作ってみた。おかゆを作って、米麴をまぜて、これは60℃で一晩寝かせる。甘い。美味しい。

やりだしたら止まらないのはわたしの悪い癖だと思う。次は納豆。市販の水煮の大豆に市販の納豆を混ぜて、これは40℃で一昼夜寝かせた。あっさり系でこれも美味しい。基本、混ぜて寝かせるだけなので、めっちゃ簡単だ。

もしかすると、わたしの仮説は正しいのかもしれない。「発酵食品は、自作が美味しい」

他に発酵食品はなかったっけ。調べてみると、いろいろある。自分の嗜好もあるので、興味を惹かれたのはチーズ！ これもお手軽にできるらしい。お酒もアルコール度数1%以下という制約はあるらしいが、意外に簡単にできるらしい。これもやってみないと落ち着かない(^_^;)

材料も簡単に手に入るようだ。わたしの仮説が真理だと証明される日も近い(かもしれない)。

(LIP編集部 わたなべ)

第二次大戦中米軍の爆撃で家を焼かれ、両親や家族を失った子供たちが放置されて救済なく、施政の全ては連合軍総司令部（GHQ）に握られていた。コッパン一つも手に入らない食糧難で、栄養失調死や餓死する者が続出した。このような悲惨な状態の中で、路頭に迷ってしまった子供の数は、1947年の統計によると全国戦災都市の総計で約123000人とされたが、実際はもっと多かったと推定される。

1946年、私は旧制中学4年生だったが、父との和解もあって、時々西宮の実家に帰ったりしていた。そんな12月の寒い日、戦災孤児“かっちゃん”に出会った。それはちょっ

とした出来事がきっかけだった。その頃、アーチ型の旧阪神デパートビル入り口に向かって左側の道路脇に3人の

靴磨きの子供たちがいた。丁度私が彼等の前を通り掛った時、3人の中で一番年下の少年に靴を磨かせていたアメリカ兵が、いきなり大声で怒鳴りつけると靴磨きの道具を蹴り飛ばし、子供の胸を蹴り倒した。10才くらいと思われる2人の少年達が慌てて米兵の前に両手を広げて立ち塞がった。危険を感じた私は、駆け寄って声を掛けた。「この子供たちは戦災で家や両親を失った孤児です、磨くのが下手だったかも知れませんが、許してやって下さい」、と丁寧に話しかけた。米兵は、黙って10円紙幣とガムを2個少年の前に置き、小さい声で「ソリー」と言って立ち去った。短気な性格らしかったが、やや恥ずかしそうにしていた。年かさの少年達に聞いた話では、その子の名は“かつじ”と言い、年は5才で広島から来たらしいが、苗字も住所も両親の名も知らないらしい。仲間達は“かっちゃん”と呼んでいる。右の頬と右手首に火傷らしいケロイドがあった。3人とも痩せて血色が悪く垢にまみれていた。かっちゃんは「おおきに」と言って、にーと微笑んだが

涙に濡れた目は意外に澄んでいた。彼らの親方は、靴磨きの道具を貸し、売り上げを得る代わりに、寝所とわずかばかりの食事を与えていたらしいが、悪い人とは思えなかった。“かっちゃん”は、多分広島原爆で家も両親も家族も失い、かろうじて生き残り、大阪に辿り着いたと思われた。

それから3ヶ月間、私は数度“かっちゃん”と会い、焼き芋やチョコレートを渡した。“かっちゃん”は、私を「兄ちゃん」と呼び、私に会うと心から嬉しそうな笑顔を見せてくれた。1947年の4月初め、春というのに肌寒い日、デパート横に“かっ

ちゃん”の姿が無かった。

2人の少年に訊いてみると、年かさの少年がポツリと「あいつ死によった」と呟いた。「えらい熱出しよって3日ほどで死

によった、原爆や」。思いがけない言葉に私は固まってしまった。余りにも悲しい言葉だった。たった5才の幼い命は両親や家族を失って彷徨った挙句、消えてしまった。私の両眼から涙が溢れ出た。「かっちゃん」はな、何べんも何べんも“兄ちゃん”と呼んどった。それを聞いて又涙が溢れ出た。

戦災孤児の調査が始まり、収容施設が出来たのは、1947年のこの頃からだった。菊田一夫原作のラジオドラマ鐘の

鳴る丘はこの年の7月から1950年12月まで、600回にわたって放送された。その主題歌“とんがり帽子”が流れると私は“かっちゃん”を思い出して胸が痛んだ。このドラマは、戦災孤児の収容施設が舞台で、孤児達の淋しい思いや絶望、苛立ち、仲間との友情、無き両親への思いなどが描かれ、その集団生活の中で希望を見つける孤児達を描いていた。戦争の傷跡は無情極まりない。私は“かっちゃん”を戦災孤児でなく、戦争孤児と呼びたい。

文／画 鶴島昭雄



今回は船場のお話をしたいと思います。前回にも書きましたが船場と島之内は異なったエリアです。通常「船場、島之内」と言われますので今では広く同じエリアだと思っている方が多いようです。

昔から船場は土佐堀川から南、長堀川(今の地下駐車場)から北、東は東横堀川から西、西は西横堀川から東の地域を言います。

前回にも書きましたが此の地域は大坂城三ノ丸構築の時にその場所にあった商家を西の方に遷して現在の船場が出来たと言われています。

次に「船場」の東西の通りの名称と南北の筋の名称を書き出してみたいと思います。

「船場」を東西に走っている通りの名称

船場を東西に走っている通りの町名は、土佐堀川から南へ土佐堀通(古くは北浜通)ー今橋ー高麗橋ー伏見町ー道修町ー平野町ー淡路町ー備後町ー安土町ー本町・・・此所までが北船場と言われました。

それより南の南船場は上記の本町からー南本町ー唐物町ー北久太郎町ー南久太郎町・・・此の南本町から南久太郎町までは

中央大通りとして阪神高速13号線が通り、その下が繊維問屋街になっています。又その地下には大阪地下鉄中央線が近鉄と相乗りして生駒まで走っております。それより南は北久宝寺町ー南久宝寺町ー博労町ー順慶町ー安堂寺町ー塩町、そこで長堀川に至り船場はおしまいです。

此で「船場」の東西に走っている道はおわり、その南に有った長堀川(今は地下道路と駐車場)から南は道頓堀川までが島之内となります。東西の横堀川も道頓堀川で無くなります。道頓堀川より南は千日前となります。

「船場」を南北に走っている筋の名称

嘗ては色々な筋がありましたがそれらを今の名称とあわせて書いてみますと、東から東横堀筋、箒屋町筋、板屋橋筋、八百屋町筋、堺筋、難波橋筋(藤中橋筋)、中橋筋、三休橋筋、井池筋、心齋橋筋、御堂筋、御霊筋(佐野屋橋筋)、渡辺橋筋、横堀筋(西横堀筋)。

この中には南北の御堂さんや御霊神社により途切れた筋がありますが、現在も大阪の中心の道路として認知されている筋は、堺筋、三休橋筋、井池筋、心齋橋

筋、御堂筋、です。

上記の通り「船場」の「通り」と「筋」の概略を書きましたがその中で大阪を代表する「御堂筋」について書いてみたいと思います。

今では「御堂筋」は大阪駅と難波を結ぶ市の幹線道路ですが、嘗ては「船場」と「島之内」を走る普通の道路でした。唯沿道に北の御堂さん(西本願寺派)と南の御堂さん(東本願寺派)がありました。

大正8年(1919)に第6代大阪市長になった池上四郎氏が難波ー梅田新道間の全長4キロを幅44メートルに拡大する計画を発表しました。

大正12年(1923)に池上氏の後任として大阪市長に就任された元助役の関一氏が此の計画を実行に移しました、御堂筋は当初3.3間幅(約6m)でしたが、それに沿っていた「淀屋橋筋」を併せて幅44メートルに拡張した道路を建設、同時にその地下に大阪初の地下鉄を難波駅まで走らせました。その殆どがオープンカットの工事でしたが用地回収などに相当時間が掛

かり大正15年(1926年)に地下鉄御堂筋線と併せて総工費3,375万円を掛けて御堂筋が完成しました。地下鉄の駅を見て頂くと解りますが淀屋橋、本町、心齋橋の各駅はドーム

型の立派な駅で、そんなに手直ししなくても現在の10両編成の列車が運行出来ています。

此の御堂筋線が実際に開通したのは昭和8年(1933年)で、梅田駅(仮駅)ー心齋橋駅間を単車運行で始めました。私が知っている戦前の地下鉄は車両が今よりも小さく2,3両連結だったと思います。単車の時はまだ車内アナウンスが無く、総て次の駅名を車掌さんが伝えていましたが、それが2,3両になって初めて車内アナウンスで次の駅が拡声器で伝えられました。唯機械の都合ででしょうか「心齋橋」の(し)が(ひ)に近い音になっていた様になっていたのを覚えております。しかし混んでいた車内で拡声器から聞こえる車内放送の音が珍しく、世の中の進歩を感じた記憶があります。

此でいったん思い出話を打ち切りたいと思っております。まだ書き足りない事が色々ありますが又の機会に譲らせて頂きます。

今回はP Cの「Wikipedia」のお世話になりました。

「おわり」
小田川徳男

LIPが選ぶ

今月の五行歌

男らしい男って

倭(しず)

父さんやで

お母さん

気づいてなかったやろ!?

私は知ってたんやで...と娘

ごめんと言えない夫

桑本明枝

人として

と通ると

コケコッコって

ニワトリのふりをする

オリンピック

澤口

そだねー言葉が

なんと優しく

いやされる

これこそ心の金メダル

五行歌(ごぎょうか)とは……五行で書く短い詩。字数や季語などの制限はなく、自分のおもったこと、感じたことを、そのまま言葉にして書きます。枚方では、五行歌ひらかた歌会連絡先:090・5893・5635)が、月一度、歌会を行っています。その作品の中から、LIP編集部が「気になるうた」を選びました。

「人の命」と「健康」と「ふつうの人間らしい暮らし」を求める裁判 原発賠償関西訴訟第 17 回期日の傍聴に行きました。

2月22日(木)大阪地方裁判所(以下、大阪地裁)で、原発賠償関西訴訟の第17回期日が行われました。これは2011年3月の東京電力福島第一原子力発電所事故で関西に避難してきた人たちが、国と東電に対し、原発事故の真相究明と責任の追及、損害の完全賠償、被災者全員に対する暮らしの支援を求める裁判です。

大阪地裁では1月初めから入庁者に対して金属探知機等で所持品検査を行うようになりました。その関係か、傍聴券の抽選時間が1時15分とこれまでより早まり、傍聴券の配布場所も別館入口に変更されました。それを知らず後で来た人もいたのですが、時間までに傍聴券を求めて集まった人は、104人。抽選に外れ法廷に入れない人のために、地裁の隣にある弁護士会館で法廷とほぼ同時進行で模擬裁判が開かれました。

法廷では、原告から準備書面48「低線量被ばくの健康影響について」が提出され、被告・国からは第24準備書面(被告・国の地震に関する責任に関する原告の主張に対する反論書面)、第25準備書面(IAEA事務局長報告書等に基づいた原告の主張に関する反論書面)、第26準備書面(被告・国の結果回避義務に関する主張に関する書面)が提出されました。

準備書面48については、弁護団からパワーポイントによる内容説明がありました。京都訴訟で原告側証人として立った医学博士・崎山比早子先生の専門家証人尋問を踏まえ、「低線量被ばくにおいても、安全だという『閾値』はなく、被ばく線量に比例してリスクが直線的に上昇するとする『LNTモデル』が科学的合理性を有すること」を論証す

る内容でした。

閉廷後模擬裁判の行われた会場で報告集会が開かれました。原告や関連訴訟、関連団体からの報告の中でいちばん驚かされたのは、復興庁の発表する避難者数についての最新情報です。大阪府所在避難者人数が88人から793人と大幅に修正されたことは前々回期日の際に聞きましたが、修正された数字の中に原告団代表の森松さん母子は含まれていないということ。大阪市は公営住宅に住んでいる47世帯の人数をあげているだけということで、森松さんがこの日午前中に電話で確認したところ、「はい。あなたたちは人数に入っていないです」との返答。「入れてくださいよ」と森松さんが言うと、「他にも人数から漏れている人がいるといけなから、そのまま」と言われたということ。これは一体どういうことでしょうか? 正月に南相馬市に里帰りした原告からは、買い物に行ったスーパーで、一年前は年配者しか見かけなかったのに、今回は子ども連れの家族でどの店もいっぱいだったというお話。3月16日スイス・ジュネーブの国連人権理事会本会合で森松さんがスピーチを行うことも聞きました。(ストの影響で、スピーチは19日実施。)

3月15日には京都地裁で、翌16日東京地裁で、原発避難者による賠償訴訟の判決が下り、共に国・東電の双方に責任を認め賠償の支払いが命じられました。22日には東電のみを訴えたいわき訴訟の判決で、東電の賠償責任が認められました。大阪地裁での原発賠償関西訴訟の次回第18回期日は、5月31日(木)午後2時開廷です。

(とよたかあきえ)

イベント・サークル・ボランティア情報

無添加石けん商品・手作り作品販売のお知らせ

・バザー 3/28(水)・4/25(水)・5/30(水)
 : 市役所前の岡東町公園にて 10:30~

お近くにお越しの際にはぜひいらしてください。皆でお待ちしております^ ^

障害者労働センター 枚方市中宮山戸町10-12-101
 TEL072-848-0508
 ネットショップ URL:<http://paso0508.cart.fc2.com>

第11回ふれあいサイクルイベント ボランティア募集

障がいをもった方々と1泊2日のサイクリングや観光を昨年タンデム自転車の公道走行が可能になった島根県を舞台に行います。イベント実施にあたってボランティアとしてお力添えをお願いいたします。

☆日時: 4月14日(土) 7時ラポール前・バス発~15日(日) 19時ラポール前解散

☆参加費: 19000円

☆内容: 美保関、中海など島根県のサイクリングなど

☆主催: NPO法人サイクルボランティアジャパン

☆申し込み・問合せ先: 090-6370-6244、大島

音楽でリフレッシュ!

快い音でゆったりとした楽しい時間を仲間と一緒に思いっきり声を出して心身共にリフレッシュしませんか?

◇日時: 4月8日(日) 12:30~14:00

場所 南部生涯学習市民センター 2階音楽室

◇日時: 4月19日(木) 14:00~15:30

場所 サンプラザ生涯学習市民センター 5階視聴覚室

※参加費: 500円(初回無料)

申し込み・問合せ先 音楽でリフレッシュ! 担当: 中嶋

TEL: 072-840-5493

「枚方自閉症児(者)親の会」 3月例会

*日時 4月23日(月)10時~12時

*場所 ラポールひらかた4階共用ルーム

*連絡先 松崎 072-945-3014 鬼塚 072-841-3515

「今ここにある時間 -こどもテラス写真展-」

- 主催: こどもテラス(障害者施設)、花歌(写真家)
- 期間: 2018年4月2日(月)~4月28日(土)
- 時間: 9:30~17:00(最終日16:00)
- 会場: カフェルボン(※カフェですので飲食が必要です)
 枚方市高田2-20-17 電話072-396-8785

枚方市にあるこどもたちの障害者施設「こどもテラス」のこどもたちの写真展です。

障害者理解と、障害者と地域住民とのつながりをテーマに開催します。

障害者のなかでもとくにこどもの写真を一般の方が目にする機会はありませんが、可愛いこどもの姿は、障害者理解にとっても大きな影響力があると考えています。

保護者のみなさんの理解を得て、ふだん接することがない障害のあるこどもたちに触れていただきたく開催いたします。

<連絡先>

花歌(樺井 良祐)

電話 090-6826-8756

Eメール fpaper.mari@gmail.com

WEBサイト <http://fpapermari.wix.com/hanauta>



4/21(土) 232-41
 『1まるのかいさ』
 うた&ギター サックス は 天然酵母 ひねもすはんのかふえ
 枚方市堤町10-24 鍾屋別館102
 安藤 明子 & ますこ デュオ
 ¥1,500 (+1ヶ-)
 予約・問合せ ☎090-5963-0590 ひねもすはん.com
 ☓ hinemospan@yahoo.co.jp

LIPは、次の場所に置かせていただいています。

- ★ 各生涯学習市民センター・図書館・メセナひらかた 3F ウィル・ひらかたNPOセンター
 - ★ 枚方市ボランティアセンター [ラポールひらかた内 072-841-0181]
 - ★ 子ども家庭支援センター ファミリーサポートひらかた [枚方市市役所南町 2-50-1 072-850-4400]
 - ★ コミュニティーカフェ ラテール [枚方市西禁野 1-3-27 禁野口バス停前 072-848-0418]
 - ★ NPO法人 りりあん [枚方市長尾元町 6-39-15 lrian@kcat.zaq.ne.jp]
 - ★ 婦人洋品店 シヤルム [枚方市南楠葉 1丁目 2-16 ぐずは公民館向かい 072-850-1362]
 - ★ 喫茶 Dik Dik [枚方市岡本町 8-17 072-846-5377]
 - ★ 街かどデイハウス 藤阪愛逢 [枚方市藤阪元町 2-27-1 072-855-6978]
 - ★ 泉屋 楠葉店 [枚方市楠葉並木 2-2-2 072-868-3060]
 - ★ WAVE34(ボウリング場) [枚方市田口 4-11-8 072-848-0450]
 - ★ 枚方市地域包括支援センター社協こもれび [枚方市南楠葉 1-30-1 エクセレントビル 203号室 072-856-9177]
 - ★ 身体障害者共同作業所 キッズ枚方コミュニケーションズ [枚方市堤町 2-1-103 072-861-6360]
 - ★ 京阪総合会計事務所 [枚方市西禁野 2-4-17 第5松葉ビル 301 072-805-5252]
 - ★ ヘアースタジオばべば [枚方市南楠葉 2丁目 4-3 072-850-9070]
 - ★ 枚方市役所(市民活動課・環境総務課・人権政策室) [枚方市大垣内町 2丁目 1-20 072-841-1221]
 - ★ 枚方市役所 津田支所 [枚方市津田北町 2-25-1 072-858-1502]
 - ★ (財)枚方市文化国際振興団 [枚方市岡東町 8-33 市民会館内 072-843-1122]
 - ★ 枚方市総合福祉センター [枚方市津田東町 2-26-1 072-858-5835]
 - ★ (社)福やなぎの里 精神障害者通所授産施設 ばびるす [枚方市大字尊延寺 2200 072-859-0245]
 - ★ NPO法人パーソナルサポートひらかた [枚方市中宮山戸町 10-12-105 072-848-8825]
 - ★ 自閉症療育センター Link [枚方市岡東町 24-10 アイエス枚方ビル3階 072-841-2411]
 - ★ 紅茶専門店VIE [枚方市南楠葉 1-1-34 072-856-2355]
 - ★ shot bar カボチャノース [枚方市牧野下島町 14-22 072-809-7676]
 - ★ ポパイ商店 [枚方市山之上 2丁目 16-9 072-846-7232]
 - ★ えほんのお部屋ひまわり畑 [枚方市香里ヶ丘 12丁目 6-28 090-6739-7064]
 - ★ クッキー工房おれんじはうす [枚方市交北 3丁目 3-10 072-856-8378]
 - ★ 陶器食器のお店 a new sprout [枚方市堤町 2-14 072-846-9550]
 - ★ 雑貨/カフェ ルポ・デ・ミディ [枚方市堤町 10-12 072-843-1525]
 - ★ 渦潮ベーカーリー楠葉店 [枚方市南楠葉 1-30-6 072-856-5420]
 - ★ 輝きプラザ「きらら」 [枚方市車塚 1-1-1]
 - ★ 教育文化センター [枚方市磯島北町 37-1 050-7102-3150]
 - ★ 三代目たぐちゃん ピーコ [枚方市牧野阪 2丁目 7-30 080-3785-1728]
 - ★ MIKIHOUSE キャラメル [枚方市牧野阪 2-9-15-105 072-857-6626]
 - ★ 株式会社 丸天酒店 [枚方市牧野阪 2-5-23 0120-39-7003]
 - ★ MogaJogaDining 枚方宿 [枚方市堤町 2-15 072-846-3535]
 - ★ カフェレストラン 風鈴火山 [枚方市牧野阪 2-5-19 072-856-3799]
 - ★ とくふうホーム [枚方市大字尊延寺 4582番 4 072-858-4058]
 - ★ 音楽療法スペース ウッドヴィレッジ [枚方市牧野下島町 9-12 070-857-3540]
 - ★ みんなでつくる広場「ちよこつ」 [枚方市楠葉野田 2-30-8 072-856-9439]
 - ★ スパイルイ枚方南 [枚方市津田山手 1丁目 24-1 072-808-4126]
 - ★ やすらぎの丘霊苑 [枚方市大字尊延寺 4588番 4 072-896-1212]
 - ★ 苺のいえ [枚方市甲斐田町 5番 25号ウエストヒルズ102号 072-805-2660]
 - ★ ちいさなまぐえん みんなの里 [枚方市楠葉並木 2-28-4 072-845-6814]
 - ★ 韓国茶が楽しめるカフェ「Cafe Cajjo」 [西禁野 1-6-28 072-848-8481]
 - ★ ぐずはアートギャラリー [枚方市楠葉花園町 15-1-Z302 本館ハナモール 3階]
 - ★ カフェ ルポ [枚方市高田 2丁目 20-17 072-396-8785]
 - ★ 「市民の広場」ひこばえ [枚方市大垣内町 2-8-27 シンエービル別館A室 072-846-8780]
 - ★ 街かどデイハウス秋桜 [枚方市宗谷 1-1-1 072-859-3991]
 - ★ 明日花障害者作業所 [枚方市西禁野 1丁目 3-18 072-848-2324]
 - ★ 陽だまりの会 [枚方市交北 2丁目 7-15 072-809-0015]
 - ★ Lin Brun. [枚方市牧野下島町 18-7 072-865-3514]
 - ★ カミュ [枚方市牧野下島町 13-11 072-865-7310]
 - ★ Grand Table [枚方市山之上 1丁目 12-10 072-846-3808]
 - ★ 尊延寺公民館 [枚方市尊延寺 3丁目 3-16 072-859-0168]
 - ★ ひねもすばんのかふえ [枚方市堤町 10-24 鍵屋別館 1階 090-5963-0590]
- ◇ ◇ ◇ ◇ ◇
- ★ フレッシュベーカーリー ラッキー [寝屋川市早子町 18-1 072-821-0413]
 - ★ ヘアーサロンおもち [交野市私部 3-17-2 072-891-5024(予約優先)]
 - ★ 小規模通所授産所施設 ミルキーウェイ [交野市天野ヶ原町 2丁目 14-20]
 - ★ 交野市役所内オムニネット [交野市私部 1丁目 1-1]
 - ★ ギャラリー天野が原 [交野市天野が原町 5丁目 20-5]
 - ★ むく福祉会 ワークホーム れっつ [綴喜郡宇治田原町 豊田船戸 38-1 0774-88-5846]
 - ★ ベビーフェイスプラネット松井山手 [八幡市欽明台北1 ソフィアモール内 075-982-3271]
 - ★ 「月桃の花」歌舞団 十三スタジオ [大阪市淀川区木川西 3-4-20 2F 06-6885-8475]
 - ★ ふらっとねやがけ [寝屋川市東大和町 2-14(市立産業振興センター5階) 072-800-5789]
 - ★ ふれあいプラザ香里 [寝屋川市香里南之町 19-17 フレスト香里園4階 072-835-3335]
 - ★ Cut wa Coconi [交野市梅が枝 55-13 072-893-0020]
 - ★ 大阪府衛生会附属診療所 [高槻市奈佐原 955 072-696-3351]
 - ★ 宇治田原社会福祉事務所 [綴喜郡宇治田原町 荒木天皇 2 0774-88-2394]
 - ★ 西宮男女共同参画センター ウェーブ [西宮市高松町 4-8 0798-64-9495]
 - ★ 大東市生涯学習センター アクロス [大東市末広町 1-301 072-869-6505]
 - ★ フェルデンハウス北斗星 [寝屋川市萱島東1丁目 16-15 070-5435-1965]
 - ★ 青年の家 [交野市私部 2丁目 29-1 072-892-7721]
 - ★ 大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター) [大阪市中央区大手前 1丁目 3-49 06-6910-8500]

応援よろしくお願いします！

LIP 応援団

LIPはみなさんの寄付で成り立っています。

LIP会計報告 (前号以降)

金額(円)	内容
41,395	前号から繰り越し
▼700	郵送代
▼500	3月ロッカー代
▼4,170	3月号印刷代
36,025	計(次号へ繰り越し)

■4月3日(火)に行われる、ひらかた子育て支援ネットワーク主催のおまつり「さくらマルシェ」。ここに、今年もシャボン玉おじさん、出勤します♪ サプリ村野にて10時～15時です。親子で楽しく過ごせる場所です。ぜひどうぞ♪(w)

■LIPは市民が伝えたいことを書き、市民が印刷し、市民が配布する地域密着型情報紙です。あなたも紙面に登場してみませんか？

イラスト 表紙、P7: 平井由恵
P2: よし美



「枚方市民にだけ」
読んでほしい情報サイト

枚方つーしん

検索